

時速283kmで高速走行する列車内に高精細8K映像コンテンツを配信

第5世代移動通信方式(5G)による 東海道新幹線への8K映像の伝送に成功



東海道新幹線への伝送試験風景(写真右が5G基地局)

シャープは、株式会社NTTドコモ(本社：東京都千代田区、代表取締役社長：吉澤 和弘、以下、NTTドコモ)および東海旅客鉄道株式会社(本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：金子 慎、以下、JR東海)と連携し、第5世代移動通信方式(以下、5G)により、高速走行中の新幹線へ高精細8K映像コンテンツを伝送する実証試験に成功しました。

本実証試験は、9月1日(日)、3日(火)および5日(木)に静岡県富士市(三島駅～新富士駅間)において、JR東海が運行する東海道新幹線N700S確認試験車にて実施しました。東海道新幹線沿線の3か所に実験用5G基地局(以下、地上基地局)を設置し、時速283kmで走行する新幹線に向けて、あらかじめ収録した高精細8K映像コンテンツを周波数帯28GHzの5G無線で送信。N700S確認試験車内に設置した実験用5G移動端末を介して当社製8K対応液晶テレビ<8T-C60AW1>に伝送しました。走行中に接続する地上基地局が切り替わっても、8K映像が途切れず表示されることを確認しました。

時速200km以上で走行する高速鉄道車内への大容量8K映像データの5Gによる伝送が実証されたことで、高精細映像を高速鉄道の乗客向けに配信するサービスなど、新たな可能性が広がります。シャープは、5Gを活用した8K伝送の実用化に向け、今後も様々なシーンにおける実証実験を推進するとともに、新たなサービスの創出を目指してまいります。

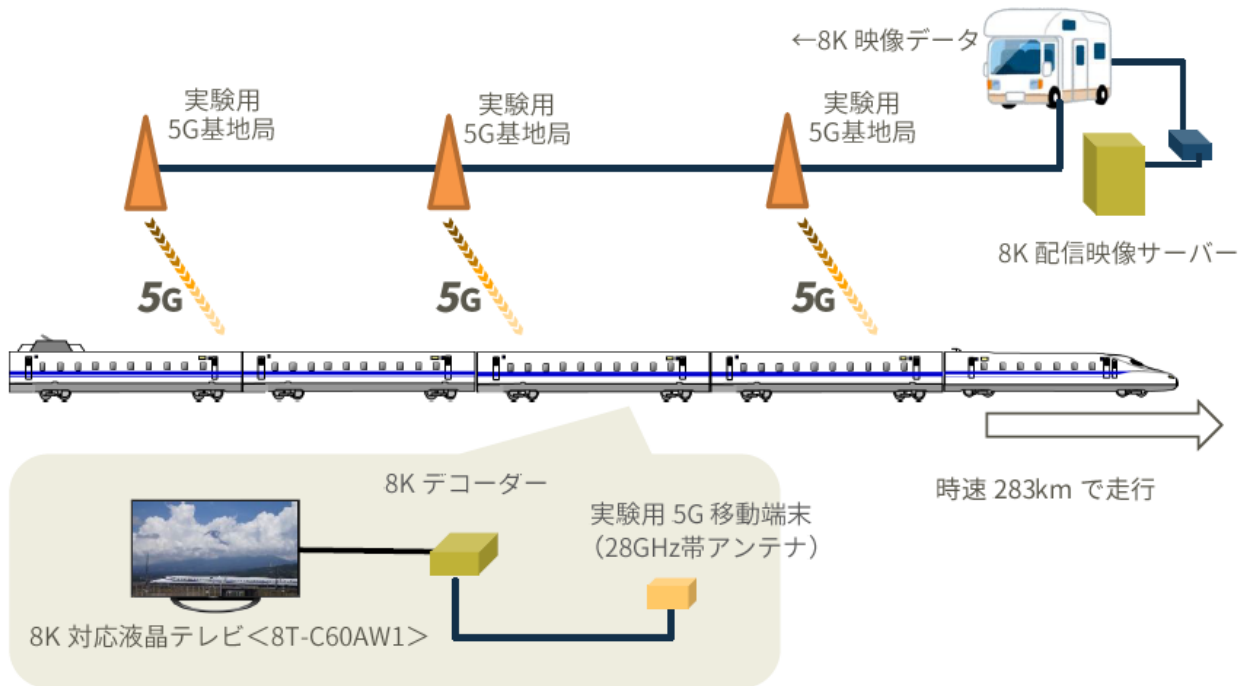
■ 実証試験の概要

実施日	2019年9月1日(日)、3日(火)、5日(木)
場所	静岡県富士市(三島駅～新富士駅間)
使用周波数	28GHz帯
映像コーデック	H.265
使用機器 (当社製品)	8K対応液晶テレビ<8T-C60AW1> * その他、8K映像サーバー、8Kデコーダーなどを当社より提供

【 ホームページ 】 <https://corporate.jp.sharp> (画像ダウンロード <https://corporate.jp.sharp/press/>)

【 本 社 】 〒590-8522 大阪府堺市堺区匠町1番地

■ 実証試験構成イメージ



■ 新幹線車内での8K映像表示の様子

